

Rotary International District 2570

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



❧ No.2 1st August 2011 ❧



『Smart Rotaryを探して』

～継続できるロータリークラブとは～

+

『ガンバレ!日本のロータリークラブ』

国際ロータリー第2570地区
2011-2012 年度ガバナー

立原 雅夫

『会員増強』月間に向けて！

現在、日本のロータリアンの会員の減少は続いています。1995年頃より、クラブ数はほぼ変動しませんがメンバー数は15年間減少しています。これは各クラブの単位数が大きく減少していることは明らかです。この現象は、各クラブが「明るく・楽しく・美しく」とする理想的な活動ができない心配があります。各クラブがより充実したクラブ活動には、会員数の維持と増員をして、より大きなパワーとしなければなりません。

＊「なぜだろうか？メンバーの減少は・・・」
1905年アメリカ・シカゴで始まったロータリークラブ。あれから約100年が経過しました。この間、世界戦争や社会的経済的な難関を乗り越えてきました。多くの先輩ロータリアンの活躍のお陰で、現在では国内各地はもちろん、世界中にロータリーの活動に理解と共感を得てきたものと思います。その結果の一つとして、我々が胸に着けている「Rバッジ」も世界的なブランドになったと思います。しかし、メンバーが減少しています。なぜだろうか？
これはまだロータリー活動の理解がされていない事なのでしょうか。

国際ロータリーでは、次世代に向かって長期計画の中で「公共性のイメージと認知度の向上」を大きなテーマとして掲げています。もっともっと地域に世界に、その活動をPRして理解してもらい、その結果として仲間が増える事を望んでいます。当地区でも、クラブ奉仕部門（山口 茂部門委員長）が、大きな目的として活動しております。当部門委員会では早くから活動を開始しております。

- ①5月13日・会員増強セミナー
- ②7月16日・広報記録セミナーを開催し、会員の増強のため各クラブの会長、担当委員長などの皆様と協議し、意見交換も致しました。

前セミナーでは、会員の現状と分析、そして各クラブの増員への必要性を熱心に協議しました。後セミナーでは、各

クラブ、地区、世界の過去の素晴らしい活動の公共イメージの向上を目的として活発に協議されました。そしてこの広報活動には、新しいネットワークを利用して、若者や女性、幅広い多くの皆様にロータリー活動を理解していただき共感してくれる会員を増やしていく必要性が論議されました。

各ロータリークラブは、地域・世界への親善、そして平和に向かってさまざまな活動を行っています。ロータリー財団は「未来の夢計画」で、『世界でよいことをしよう！(Doing Good in the World!)』をキーワードとして新しい展開をします。

『世界でよい事をしよう！あなたも一緒にしませんか！』と、新しい仲間呼びかけてください。



2011－12年度国際ロータリー第2570地区
ガバナー 立原 雅夫

会員増強は永遠の課題

8月はロータリー会員増強・拡大月間

2011年度－2012年度、立原雅夫ガバナー年度がスタート致しました。8月は会員増強月間であり、1人でも多くの適格者にクラブ入会の興味をもってもらう為に、又クラブ会員の減少を防ぐ為に、クラブは内部拡大の為に現行規定を充分且つ意図的に利用し、多くの会員が例会出席したくなるプログラム内容の充実が必要と考えます。

クラブ会員増強は貴クラブの将来の為に、円滑なクラブ運営、地元地域社会への奉仕活動を持続していく為に、会員増強が絶対必要条件となります。又、会員の維持も重要で、会員増強と会員の維持は両方大事となります。

RIではクラブの活動はクラブレベルで行われ、クラブの活動と会員の現状について、各クラブで全会員と共に検討するように求められており、各クラブは「こういうクラブになりたい」と願うクラブになる為に、どの様になっていくべきかについて考える必要があると言われております。

◆ 当2570地区の2011年7月1日現在の集計

会員数 1,737名		クラブ数 53	
第1グループ会員数	318名	女性会員数	16名（5.03%）
第2グループ会員数	233名	女性会員数	11名（4.72%）
第3グループ会員数	424名	女性会員数	18名（4.25%）
第4グループ会員数	389名	女性会員数	19名（4.88%）
第5グループ会員数	373名	女性会員数	12名（3.22%）
合計	1,737名	合計	76名（4.38%）



クラブ奉仕部門委員長 山口 茂（熊谷南）

会員増強方法の一部抜粋

- ①年度会長が自ら会員増強を行い、熱意をもって望む。
- ②潜在的な職業分類を探り、地域社会内の事業及び専門職の新業種の該当する資格ある候補者を探し出す。
- ③クラブ会員が全員、会員増強に意識を持ってもらう（特に女性会員の勧誘）
- ④貴クラブ協議会等により、クラブ内にて会員増強・会員維持について協議する。
- ⑤グループガバナー補佐と連携して、会員増強を行う。

会員増強の活動方法資料は、2011年5月14日の2570地区会員増強セミナーにて配布の、会員増強セミナーの3つの要素と、先般7月14日広報・記録セミナーにて配布させて頂いたROTARY（あなたも新しい風に）と、ROTARY（ロータリー世界と日本）の冊子2部を参考にして頂ければ幸いです。

8月の会員増強月間が、貴クラブの実りのある月間となり、今年度が2570地区として会員数が増え、貴クラブが充実した年度になる事をご祈念致します。



会員増強・クラブ拡大委員長 渋澤健司（本庄）

会員増強およびクラブ拡大月間

8月は会員増強・クラブ拡大月間です。現在第2570地区の6月末の会員数は、1745名となっています。今年度の増強目標は、各クラブ会員数純増一名以上を目指す事です。

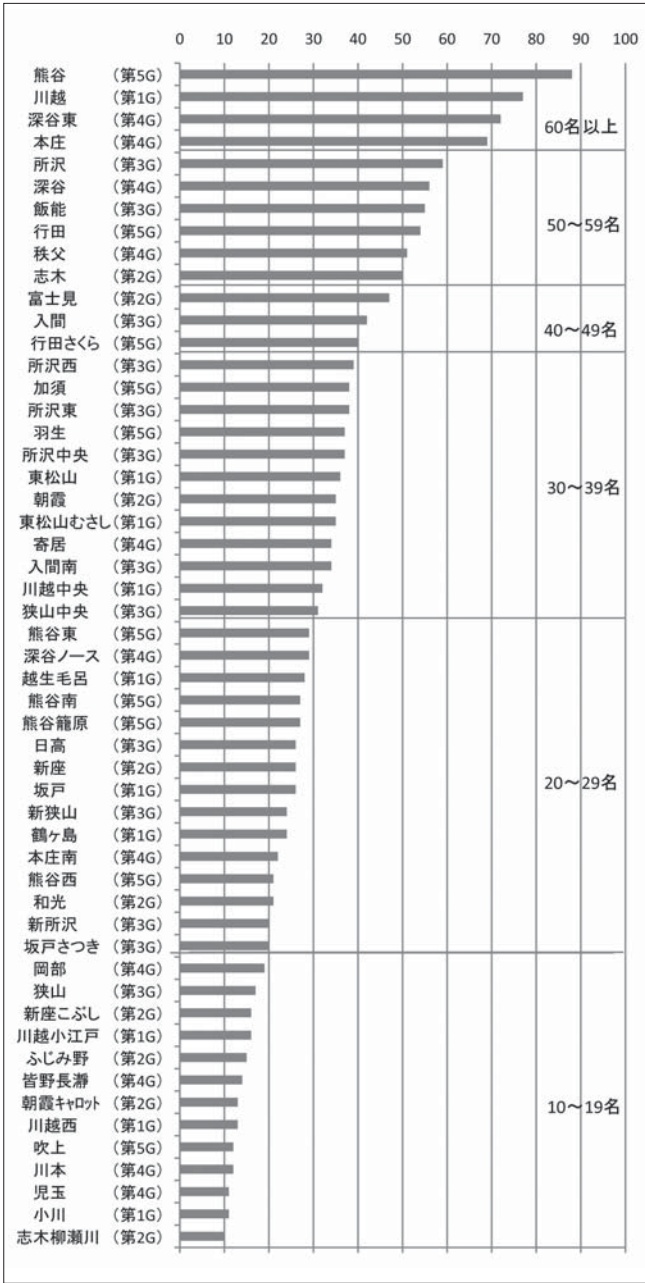
- その為に何をしなければならぬのか？
- ①「理念・活動内容・組織力・ブランド力」を共有し魅力を知る事
 - ②価値観を共有し、「価値ある活動」を共に歩んでゆく事
- 世界に広がる仲間のパワーを「超我の奉仕」の哲学のもと「職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕」活動を通し、多くの人の役に立ち、その活動を共有する仲間を一人でも多く募りたいと思います。

また、今年度RI会長のカルヤン・パネルジー氏のテーマは「こころの中を見つめよう、博愛を広げるために」です。自分自身の心の中を見つめて、本当に大切なものは何なのかを考えることです。その中で「家族」「継続」「変化」という3つの強調事項を掲げております。会員増強では、このテーマを基本とし、『Smart（賢い）Rotaryを探して』～継続できるロータリークラブとは～を第2570地区ガバナーのテーマとして掲げ、皆様と共に活動して行きたいと考えています。ロータリークラブでは、目に見えない「偉大なる何か」力が働いていると考えます。キャッチフレーズとし『Something(サムシング) Great(グレイト) あなたと一緒に行動しよう』を提唱し活動します。

◆ 活動計画

1	各クラブ純増会員数目標1名以上とする。
2	各クラブで新規入会予定者候補のリスト及び年次計画表を作成。(会員推薦書作成)
3	新入会員を募り、他クラブへのメークアップ推進をする。
4	5月14日(土曜日)第一回会員増強セミナー開催（早稲田リサーチパーク・本庄）
5	10月15日(土曜日)第二回会員増強セミナー開催（埼玉グランドホテル本庄を予定）
6	女性会員を増やす。
7	各クラブへ、要望に対してのセミナーの開催を行なう。

◆ 第2570地区 2011年7月1日会員数



アーチ・クランフ・ソサエティー



星野進（秩父）

米山功労者（10回目）



幸島五一（秩父）

新入会員のご紹介



草野素雄

クラブ名：坂戸RC
入会年月日：2011年7月7日
勤務先：城西大学
役職：副学長



長島公二

クラブ名：川越中央RC
入会年月日：2011年7月4日
勤務先：司法書士
長島公二事務所



長根章浩

クラブ名：富士見RC
入会年月日：2011年7月1日
勤務先：長根産業
役職：代表取締役



尾崎孝好

クラブ名：富士見RC
入会年月日：2011年7月1日
勤務先：(有)芳友
役職：専務取締役



西野隆太郎

クラブ名：新狭山RC
入会年月日：2011年7月4日
勤務先：(株)ニチア
コミュニケーション
役職：代表取締役



長島康雄

クラブ名：所沢中央RC
入会年月日：2011年7月7日
勤務先：高砂工業株式会社
役職：代表取締役



石井和宏

クラブ名：所沢中央RC
入会年月日：2011年7月11日
勤務先：(株)ヤナセ住販
役職：店長



内田和夫

クラブ名：秩父RC
入会年月日：2011年7月12日
勤務先：武蔵野銀行 秩父支店
役職：支店長

訃報

慎んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。



森 和夫様（飯能 RC）

2011年6月30日
ご逝去されました。（享年85歳）
ロータリー歴：1970年入会

年度始地区役員合同会議報告

7月に入り国際ロータリー第2570地区も、いよいよ立原ガバナー年度のスタートです。「Smart Rotaryを探して」～継続できるロータリークラブとは～のテーマのもと、更に東日本大震災を受けて「がんばれ！日本のロータリークラブ」のフレーズを付け加えて、立原ガバナーは地区のリーダーとして、並々ならぬ覚悟を秘めてその歩みを開始いたしました。その第一歩として、去る7月9日(土)に「年度始地区役員合同会議」が開催され、川越プリンスホテルに地区役員全員が集合し、地区事業のスタートに相応しい華やかで熱気の溢れる会議が展開されました。委嘱状を授与され、方針を語る代表の地区役員の皆さんの顔は、これから始まる2011-12年度に対する期待で輝いておりました。これから、それぞれの部門で地区事業が始まるわけですが、初心を忘れず素晴らしい成果を挙げられますようお祈り申し上げます。

小江戸歴史探訪 その2

川越まつり(中)

先月号では、小江戸川越最大の行事である「川越祭り(川越氷川祭礼)」の発祥について触れさせていたいただきました。今号では引き続き、時の川越城主・松平信綱が興した祭りの効果面について記させていただきます。

◇祭礼の効果

川越氷川祭礼を始めるにあたり、藩の費用負担は膨大な額に上りました。しかし、藩主としてはその費用以上に効果を重視したと考えられます。当時川越に大きな祭礼を興すことには、どのような効果があったのでしょうか。まず、「総鎮守への祭祀の厳修」が挙げられます。藩主として、自らの武運長久と領内の安寧を氷川の神に祈ることは重要であり、家臣や領民にそれをつつがなくおこなったことを知らしめることも、人心を掌握する上で大切なことでした。次に挙げられるのは、「城下の組織化」です。当時城下町には城主の家臣である武士と、藩が召集した商人や職人が、職業ごとに集められた町に住まわされていました。そのため、町ごとの自治組織を早急に確立させるためには、まず祭礼組織を作らせ祭りを興すことが、町内の一致団結を助長し城下全体を組織化する上で良い方策と考えられたのでしょう。さらに「経済効果」も重視されます。川越大火直後に川越藩へ移封となった信綱が、祭礼やそれに伴う市(いち)において大勢の見物人がもたらす城下への経済効果を見込み、より一層祭礼を華やかに見せるための努力をしたことが、現在に続く川越氷川祭礼の基礎となったと考えられます。次号では、川越まつりの「華」ともいえる山車の変遷について記させていただきます。



氏子各町の山車は祭礼日に氷川神社へ社参する。

8月・9月のスケジュール

8月		
2	火	公式訪問－所沢西RC
3	水	公式訪問－飯能RC WCS委員会会議(紫雲閣)
4	木	公式訪問－坂戸RC・坂戸さつきRC
5	金	R財団部門地区役員会議(ガバナー事務所)
6	土	職業奉仕部門セミナー(キングアンバサダーホテル熊谷)
8	月	公式訪問－熊谷西RC
9	火	公式訪問－深谷RC
10	水	公式訪問－熊谷東RC
14	日	米山記念奨学部門>秩父音頭祭り参加
15	月	
26	金	公式訪問－和光RC RLI・DL養成講座(紫雲閣)
27	土	青少年交換委員会>来日学生第1回リエンテーション(オムロ)
28	日	国際奉仕部門セミナー(紫雲閣) 地区研修委員会会議(紫雲閣)
29	月	公式訪問－川越中央RC
30	火	公式訪問－秩父RC

9月		
1	木	公式訪問－本庄RC
3	土	R財団第1回リエンテーション(オムロ) 第3グループフレッシュマン研修セミナー事前打合せ(狭山勤労センター)
4	日	新世代部門セミナー(国立女性教育会館)
5	月	公式訪問－新狭山RC
6	火	公式訪問－羽生RC
7	水	公式訪問－寄居RC
8	木	公式訪問－新座RC
10	土	第1回R財団部門セミナー(国立女性教育会館) 米山研修旅行(米山記念館)
11	日	↓
12	月	公式訪問－朝霞キャロットRC
13	火	公式訪問－越生毛呂RC 公式訪問－新所沢RC
16	金	公式訪問－狭山RC
17	土	第1ゾーンロータリーコーディネータープログラム(塩釜) クラブ研修リーダーセミナー(紫雲閣)
20	火	地区大会・記念ゴルフ大会(霞ヶ関カントリー倶楽部)
21	水	公式訪問－加須RC
24	土	青少年交換委員会>第2回リエンテーション
26	月	公式訪問－本庄南RC
27	火	公式訪問－行田さくらRC
28	水	公式訪問－岡部RC
29	木	公式訪問－皆野・長瀨RC

文庫通信(286号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会の講演から

- 「日本の歩むべき道」……………小泉純一郎……………〔2011〕8P(D.2590)
- 「日本人のわすれもの」……………櫻井よしこ……………〔2011〕2P(D.2690)
- 「日本経済復活のキーワード“グローバルセンス”」……………財部誠一……………〔2011〕3P(D.2760)
- 「地域の繁栄は国の繁栄」……………金 美齡……………〔2011〕2P(D.2630)
- 「私とスペシャルオリンピックス活動」……………有森裕子……………〔2011〕6P(D.2750 第30回インターアクトクラブ年次大会)
- 「変わりつつあるロータリー」……………江崎柳節……………〔2011〕3P(D.2760)
- 「ロータリー財団の方向性」……………川尻政輝……………〔2010〕5P(D.2780)
- 「CLPとクラブ活動について」……………松宮 剛……………〔2010〕9P(D.2780)
- 「津波が変えた私の人生」……………道下俊一……………〔2008〕10P(D.2780)

〔申込先：ロータリー文庫(コピー/PDF)〕

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506 http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

ロータリー川柳募集

テーマ「ロータリーとは」
なぞなぞの出題ですが、あなたのロータリーライフで思ったこと、面白いことなど自由に作句して下さい。たのしい作品をお待ちしています。1回の投稿は3句まで。

表紙の絵の紹介

～ガバナー月信8月号表紙～
「霞ヶ関CC名物ホール(東10番)」

日本でも有数な名門ゴルフ場として知られる霞ヶ関CCの東コース10番は、レギュラーで156ヤードしかないが、池越えて大きなバンカーが口を開けて待ち構え、グリーンは小さく砲台となっており、ワンオンさせるのは至難の技で、プレーヤー泣かせで有名なショートホールである。(成功率10%位)
皆様も一度挑戦してみてください。

一川宏也(川越RC)



国際ロータリー第2570地区 2011-2012 年度ガバナー 立原 雅夫

ガバナー事務所 〒350-1123 埼玉県川越市脇田本町11-27-2F
TEL 049-293-6522 E-mail: info2011@mail.rid2570.gr.jp
FAX 049-293-6523 URL: <http://www.rid2570.gr.jp/2011/>
